令和８年４月１日現在

民 児 協 現 況 調 査（市民児協用）

民児協名（正式名）	佐世保市民生委員児童委員協議会連合会			
１．事務局	〒８５７－００４２ 佐世保市高砂町５－１			＜運営＞ ・行政 ・社協 ・独立
	所属名（行政・社協の場合）			
	ＴＥＬ：0956-59-6115　　ＦＡＸ：0956-25-9684			
	E-ｍａｉｌ：sasebominjikyou@tiara.ocn.ne.jp			
	事務局担当者名	職名：事務局長	ふりがな 氏 名：吉田（よしだ）　晶利（あきとし）	
２．会長･副会長	役職名	氏　名	委員 経験年数	会長・副会長 経験年数
	会　長	永島　厚子	24年4月	会長　0年4月 副会長　9年4月
	副会長	中島　正行	21年4月	副会長　3年4月
	副会長	永田　洋子	18年7月	副会長　0年4月
	副会長	濱野　かほる	17年10月	副会長　0年4月
３．民児協の構成	・定数　６３０　名　（内　主任児童委員　６８　名） ・実数　６０１　名　（内　主任児童委員　６８　名） ├ 男性　２７４　名　（内　主任児童委員　１５　名） └ 女性　３２７　名　（内　主任児童委員　５３　名） ・法定単位民児協数　３３　民児協			
４．民児協の運営、組織構成（別紙添付可）	理事会・会長会・部会等の構成（名称、内容、構成員数） 別紙１のとおり			
５．会長会の開催日	・毎月　１　日　　毎月　第２水曜日　（例：毎月３日、毎月第２月曜日など） ・その他（　　）			
６．重点活動（別紙事業計画等添付可） 別紙２のとおり				

7．単位民児協の活動について

単位民児協名	構　成		重　点　活　動
宮	会長名	伊藤　雄三	**①　閉じこもり、孤独死等の支援が必要な高齢者への訪問活動の強化** **②　地域支援ネットワークの充実と事業の拡大、活性化** **③　災害時の支援活動** **④　友愛訪問を通じて各団体との連携** **⑤　地域一体となって、児童の登下校の安全パトロールと事故防止対策** **⑥　スクールサポート制への支援協力** **⑦　食事サービスグループへの全面的支援協力** **⑧　各地区福祉団体への支援活動** **⑨　ふれあいいきいきサロンの推進** **⑩　認知症、虐待に関する学習会**
	定 数	１０名 (内主任　２名)	
	実 数	１０名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		
三川内	会長名	栗野　健次	１．全般 ①日常的な声かけ、家庭訪問 ②時代及び地域社会の変化に対応する活動及び支援 ③個人情報守秘の徹底 ２．高齢者 ①在宅生活ができるケアサービスの方向性援助 ②災害時等に対応する要援護者の把握 ３．青少年 ①子育て家庭への理解及び支援活動 ②部会に示す小学校、中学校、保育園との連携の強化 ③児童虐待等の未然防止及び早期発見 ４．その他 ①老人施設の定期訪問 ②地域行事及び学校行事への積極参加
	定 数	１６名 (内主任　２名)	
	実 数	１６名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	小学校 中学校 三川内保育園 江永保育園 上記の各部会	
針尾	会長名	坂口　知久	＜高齢者＞〉 （1） 要援護者の安否確認・友愛訪問の強化 （2） ふれあいﾈｯﾄﾜｰｸ支援事業の強化・ふれあいいきいきサロン・いきいき百歳体操を通じた地域コミュニティーの推進及び健康寿命の延伸 （3） 避難行動支援者の把握及び登録・支援の強化 ＜子ども＞ （1）児童生徒の健全育成を図るため、小学校・中学校との情報交換会の実施 （2）学校行事への積極参加 ・小学校入学式・卒業式・運動会・夏祭り ・小中学校「交通安全指導・声かけ運動・授業参観」 ・学校美化作業（健全育成）を目指し花壇の植栽（春・秋） （3）子育て家庭への支援・虐待防止に係る活動の推進 ＜その他＞ （1） 町内行事への積極参加（運動会・慰霊祭・美化作業等） （2） 福推協便りの発行（4月・１０月）（3）地域福祉事業の推進（サロン・百歳体操等） （4）定例会（毎月１５日基本）　※民児協・福推協 （5）各関係機関との連携強化（自治協・社協・包括・福祉施設等） （6）委員の資質向上を目的として、福祉施設訪問・視察研修 （7）各種研修・講習会への参加
	定 数	９名 (内主任　２名)	
	実 数	９名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	※ 少人数のため、それぞれの活動内容に応じて主たる担当者を決めて活動を行っている。	

単位民児協名	構　成		重　点　活　動
江上	会長名	鴨川　勝信	○定例会の活性化 ・毎月、ゲストを招いて情報を得る ・活動内容の報告会をする ○児童生徒の登下校時の声掛け、地域での見守り活動、地区内の安全パトロール ○ふれあいネットワークを活用し、在宅援助に力を注ぐ。また再整備を行う。 ○各関係機関との連絡を密にする各行事への参加 学校、自治協、老人会、警察等
	定 数	１５名 (内主任　２名)	
	実 数	１５名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	少人数なので部会は設けていないその都度人選を行い対応している。	
広田	会長名	長谷川　康雄	・地域の子ども達の見守り ・高齢者の見守り訪問を定期的に行う ・地区内の安全パトロールの実施 ・施設訪問の実施
	定 数	１８名 (内主任　２名)	
	実 数	１８名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		
早岐	会長名	久保田　直樹	地域住民の身近な困りごとをはじめ、様々な情報を把握し、その解決に向けた活動などに、地域の多くの団体や住民の方々と連携して取り組み、安心して暮らすことができる地域づくりを目指して活動しています。
	定 数	３７名 (内主任　２名)	
	実 数	３５名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	高齢者部会 児童部会 厚生部会 子育て支援部会	
日宇	会長名	永石　雅基	・ネットワークを広げ地域の高齢者の見守りや情報提供を受け、活動を地域の方と一緒になって動いています。 ・広報紙を年２回発行し、各町内会へ配布等をし、民生委員の活動や地域の方に民生委員の顔を知ってもらう事を目標に作っています。 ・各小学校区別に年２回、学校と民生委員との情報懇談会を開催中学校とは年１回、情報懇談会を開催。 ・日宇地域支え合い推進に取り組んでいる。 ・年１回の県内外への研修旅行で、県内や他県の介護施設の取り組みや設備などについて、意見交換等を行います。 ・各地区別（黒髪・日宇・大塔）研修会を年２回位開催。 ・各部会での研修を適宜開催、部会以外の委員も希望する研修に参加できる。
	定 数	５０名 (内主任　３名)	
	実 数	４９名 (内主任　３名)	
	部会・委員会	高齢者部会 児童部会 福祉資金部会 ﾈｯﾄﾜｰｸ部会 広報部会	

単位民児協名	構　成		重　点　活　動
天神	会長名	宮田　龍吉	・地区民生委員・児童委員との意思疎通の強化 ・友愛訪問を積極的に実施する ・地区自治協及び地区公民館等や学校との連携 ・地区・地域の事業に積極的に参加・協力
	定 数	２２名 (内主任　２名)	
	実 数	２１名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	児童部会 厚生部会 高齢者部会	
福石	会長名	西浦　惠滿子	・毎月の定例会に連携機関（学校、子ども支援センター）との情報交換 ・小・中学校との連絡及び情報交換 ・保護者・連絡機関との連携 ・学校・地域との協力支援 ・高齢者の一人暮らしの把握及び援助 ・定期的な訪問 ・身近な問題等の相談 ・高齢者施設との情報交換 ・福祉関連への訪問研修を実行
	定 数	１８名 (内主任　２名)	
	実 数	１７名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		
木風	会長名	中島　正行	※　一人ひとりが住み慣れた街で安全に安心して暮らせる街づくり ＜高齢者関係＞ ・一人暮らしの高齢者が地域で安心して生活できるよう友愛訪問の実施 ・一人暮らしの高齢者などを対象に食事サービス事業を実施 ・災害時の防災ネットワークづくりを町内会の理解のもと取組む ・サロン事業の充実を図り、地域住民と一体となり、一人暮らしの高齢者の孤独感を和らげるように声掛けとともに様々な相談に応じる （ふれあいいきいきサロン事業が現在 12 グループ） ＜児童関係＞ ・学校行事への協力、支援を行うとともに「木風っ子支え隊」や地域ボランティアとの連携のもと登下校時の安全見守り活動やあいさつ呼びかけ運動を実施 ・児童虐待や不登校については、主任児童委員を中心に学校・地域との連携を図りながら情報収集・サポートに努めている ＜その他＞ ・地域の方々に福祉活動の理解を深めてもらうため、木風地区福祉推進協議会だより「みどりの風」を毎年発行している
	定 数	１２名 (内主任　２名)	
	実 数	１０名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		

単位民児協名	構　成		重　点　活　動
潮見	会長名	永田　洋子	○高齢者について 見守りを重視し、声掛けにも力を入れ、地元で安心して生活できる　環境づくりを目指します ○児童・生徒について ６か所に民生委員が立ち登校時の安全見守りに務めています 学校・育友会・地域の行事には積極的に参加します ○地区活動について 地域包括支援セター、社協、警察等関係機関と連絡を取り合い情報交換・講習を行います 定例会時に活動記録の記入の勉強会も実施します ○最終目標 地域の皆様に信頼して頂く民生児童委員を目指します
	定 数	１１名 (内主任　２名)	
	実 数	１０名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	部会・委員会と分けず全員で取り組む	
白南風	会長名	深町　なお	○高齢者の家庭を見回り、声かけをする ○高齢者等の家庭への生活上の手助け（ゴミ出しなど）をする ○福推協が行っていた独居高齢者宅訪問と粗品配付を引継いで行う ○児童・生徒の見守りをする ○学校行事に参加協力する ○白南風小学校１２０周年行事に協力する ○子育て支援センターと協力し子育て家庭を見守り支援する ○山澄地区自治協議会「福祉部会」「生涯学習部会」、「青少年部会」の活動に参加協力する ○地域包括支援センターと情報共有し相互協力する ○「ゴミへるサポートしらはえ」事業に協力する ○いきいき百歳体操やサロン活動に協力する
	定 数	１５名 (内主任　２名)	
	実 数	１５名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		
小佐世保	会長名	笠原　良子	１．高齢者の支援活動の充実 ２．小・中学校との連携強化 ３．地区福推協の推進委員相互の連携活動 ４．民生委員児童委員の連携強化 ５．中部地区自治協議会との連携活動 ６．小学校校区７ケ町連合会との連携 市保健福祉部、社会福祉協議会の福祉関係活動との連携 ７．放課後子どもプランとの連携強化
	定 数	１６名 (内主任　２名)	
	実 数	１６名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		
戸尾	会長名	松永　　亨	☆ 日常的な見守り活動（独居高齢者、児童等） ☆ 友愛訪問の継続 ☆ 町内会、自治会とのコミュニケーション ☆ 祇園小・中学校、保護者とのコミュニケーション ☆ 関係法令の習得、出前講座受講
	定 数	１３名 (内主任　２名)	
	実 数	１１名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		

単位民児協名	構　成		重　点　活　動
光園	会長名	田中　龍弥	・挨拶運動 ・地域包括支援センターとの連携 ・小中学校との連携 ・児童部会 主任児童委員２名による学校訪問を密にしています
	定 数	１９名 (内主任　２名)	
	実 数	１５名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	高齢者部会 厚生部会 児童部会	
山手	会長名	永元　三郎	○民生委員個々のスキルアップを図る ○町内会との連携を図る
	定 数	１６名 (内主任　２名)	
	実 数	１５名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	児童部会 厚生部会 高齢者部会	
清水	会長名	初瀬　しず子	１．清水地区住民を対象に民生委員が中心となり、１３町の地区公民館で、サロン、百歳体操を実施しています。 地域の融和がすすんでいる。 ２．子どもたちへの登校時の見守り活動、校門前でのあいさつ運動を行っています。 ３．避難行動要支援者宅の一斉訪問の実施、また、高齢者世帯への支援活動を行っています。
	定 数	１９名 (内主任　２名)	
	実 数	１８名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		
大久保	会長名	土方　　信	１．高齢者一人暮らし及び障がい者への見守りと訪問活動 ２．地域児童生徒の登下校時の見守り、事故防止とあいさつ運動の更なる推進 ３．小中学校行事、その他福祉関係行事への積極参加でまちづくり活動の推進 ４．ふれあい　いきいきサロンの推進 ５．ふれあいネットワーク支援の推進 ６．地域内の危険箇所の調査発見で事故防止の推進
	定 数	１５名 (内主任　２名)	
	実 数	１４名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		

単位民児協名	構　成		重　点　活　動
金比良	会長名	嬉野　憲二	①地域の高齢者を孤立させないための見守りと声かけ ②地域における安心・安全と子ども・子育ての支援 ③地域児童生徒の登下校時の見守りと見廻り
	定 数	１７名 （内主任　２名）	
	実 数	１６名 （内主任　２名）	
	部会・委員会		
春日	会長名	橋口　洋子	①民児協関係 ・定例会の充実、役員会の実施、定例会時の事例検討会 （毎月第３月曜日及び３木曜日） ・「民生委員児童委員信条」の復唱 ・欠員地区への支援検討 ②高齢者、子ども達への気配りの強化 ・夏休みラジオ体操への参加交流（清水小、春日小）に伴い参加賞配付 ・配食サービス（年２回、２月・11 月）（80 才以上一人暮らし） ・お茶配布（年１回）（80 才一人暮らしと 80 才以上夫婦のみ世帯） ・認知症治療施設（見学研修） ・認知症予防、介護家族への支援（講演会） ・いきいきサロンへの参加 ・道路拡張工事に伴う交通安全の確保と見守り ③学校関係 ・小・中学校との定例会（毎月１回）・学校行事への積極参加 ・登下校時の見守り声かけ
	定 数	１７名 （内主任　２名）	
	実 数	１６名 （内主任　２名）	
	部会・委員会		

単位民児協名	構　　成		重　　点　　活　　動
宇久	会長名	永島　厚子	定例会　毎月第３木曜日（社協　宇久支所会議室）（毎月出席） 行政センター所長、住民課長、社会福祉協議会支所長、宇久地域包括センター所長、宇久小・中・高校校長 〇自治協議会との連携・協力 〇行政センター・学校・各関係機関との連携 〇全員での登校・下校時の見守り 〇高齢者・一人暮らし家庭・母子、父子家庭等の安否確認や見守り活動 ① 高齢者世帯、ひとり暮らし家庭等への声かけや見守りの安否確認。 見守りネットワーク・要援護者ネットワークや介護保険の周知。 高齢者へのボランティア活動、生き生きサロン活動、社協宇久支所 地区包括支援センターとの連携 ② 生活困窮者自立支援、生活保護について。障がい者の福祉支援及び 障がい者サロンボランティアについて。生活福祉資金について。 健康づくりや訪問販売等について社協・地域包括支援センターとの 連携 ③ 〇児童委員・主任児童委員の連携活動。 〇小・中・高校生の年間の登校、下校時のあいさつや見守りの年間予定表を作成し、定例会時には主任児童委員より当番の確認 〇学校・幼児園・公民館・青少年健全育成会行事等への参加協力。また、保健師・警察等関係機関との情報の共有と連携。 〇児童センターへの協力。 ④ 〇年間の活動目標や事業活動予定について。 〇定例会前の重要事項について 〇災害時の連絡網について （会長・副会長・会計・各部会長） 〇旅費、宿泊費の一部変更について
	定 数	１３名 （内主任　２名）	
	実 数	１３名 （内主任　２名）	
	部会・委員会	①高齢者福祉部会 ②生活福祉部会 ③児童福祉部会 ④企画運営部会	

単位民児協名	構　成		重　点　活　動
大野	会長名	西本　博行	１．役員会の月１回開催（役員１４名） １４名の役員による月１回の開催 ２．定例会の充実 ・分かりやすい定例会資料の作成 ・意見が出しやすい雰囲気づくり ・会議中私語禁止のルールの徹底 ３．ふれあいネットワーク構築の推進 ４．ふれあい食事サービス活動の推進 ５．ちびママ倶楽部の推進 ＳＮＳ利用やチラシによる活動の充実 ６．学校訪問の充実 春日小・大野小・大野中へ月１回訪問しての校長先生との情報交換 ７．大野小学校における「フレンズ」活動 小学校生活の中での日常生活支援活動 ８．一人暮らし高齢者の交流を目的とした「コスモスの会」の充実企画 ９．ふくし教育としての「サロン」の開催
	定 数	４１名 (内主任　２名)	
	実 数	３７名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	生活福祉部会 高齢者福祉部会 母子福祉部会 児童福祉部会 心身障がい（児）者福祉部会 学校連絡部会 女性民生委員児童委員部会	
赤崎	会長名	山本　奈緒子	１．高齢者（独居を含む）宅への家庭訪問を通じての安否確認活動 ２．小、中学生の登下校の見守り活動 ３．避難行動要支援者の近隣の方々への協力お願い活動 ４．8050 問題について、担当地区内居住者の確認活動 ５．社協、包括支援センター、生活支援コーディネーターとの連携を図り、地区内の諸問題の解決に協力する活動 ６．ＤＶ、児童虐待に注意を配り、ＰＴＡ、育友会との連携を図り、防止に取り組む ７．「5 月 12 日民生委員児童委員の日」の活動強化週間内に小学校校門にて「あいさつ運動」を実施する（地域関係者と共に）また、夏休み、春休み明けに年３回実施する
	定 数	１５名 (内主任　２名)	
	実 数	１５名 (内主任　１名)	
	部会・委員会		
九十九	会長名	佐伯　公子	佐世保地域コミュニティ計画に基づき町内と連携して気配りをもって高齢者宅の見守りの強化、災害時の対応、安心・安全の住みよい環境づくりを図っていきたい ＜高齢者関係＞ １．自主防災に積極的に参加する ２．敬老祝賀会、公民館まつりなどの諸行事には積極的に参加し、地域の方々との交流を図る ＜ボランティア活動＞ 特別養護老人ホーム海南荘の草刈りボランティア ＜構成員の教育研修＞ 民児協主催の各種研修会には積極的に出席し研鑽に努める ＜児童とのかかわり＞ 積極的に学校行事にかかわり、見守りに努める
	定 数	１０名 (内主任　２名)	
	実 数	１０名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		

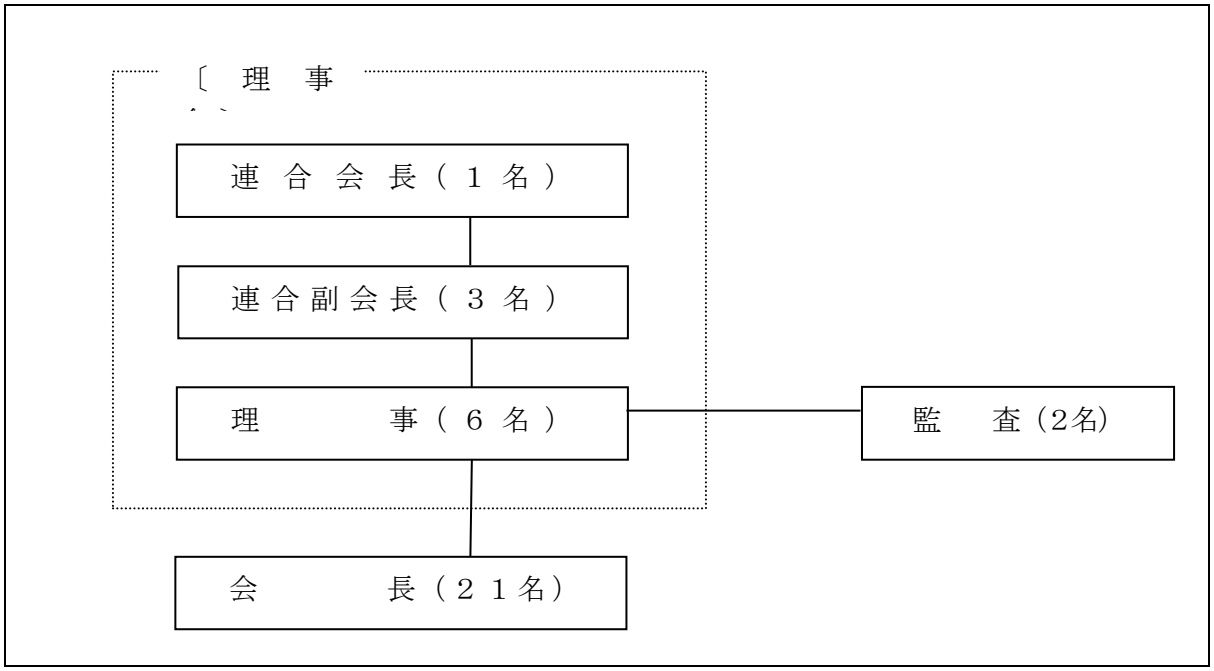
単位民児協名	構　成		重　点　活　動
中里皆瀬	会長名	辻　玲子	1．委員の資質向上及び活動促進 〇定例会の充実（情報共有及び意思決定の明確化） 〇部会活動の促進 〇研修・研究の促進による委員のスキルアップ 2．避難行動要支援者をはじめとする要支援世帯の把握及び支援 3．子どもの見守りと子育て家庭の支援 〇子育て支援サークル「なかよし広場」の開催 〇赤ちゃん訪問の推進 〇小中学校との推進 〇小中学校での挨拶運動（活動強化週間中） 4．広報紙「ふくしだより」の発行（年3回）
	定 数	２７名 (内主任　2名)	
	実 数	２４名 (内主任　2名)	
	部会・委員会	中里第１部会 中里第２部会 皆瀬第１部会 皆瀬第２部会	
柚木	会長名	宮﨑　義高	・安心して住み続けることが出来る地域社会づくりを各関係機関と連携し、強化推進する。 ・特に高齢者の孤立、孤独を無くすために、地域でのつながりを積極的に推進していく。 ・児童虐待や犯罪被害から子どもを守るための取り組みを積極的に推進していく。 ・寝たきりや一人暮らし老人の相談、支援と日常の安否確認 ・地域住民が生きがいを持って暮らすことができるよう「ふれあいいきいきサロン」開設の推進 ・「放課後子ども教室」（６月～２月）の積極的な推進と運営の実施
	定 数	１５名 (内主任　2名)	
	実 数	１５名 (内主任　2名)	
	部会・委員会	高齢者部会 福祉資金部会 児童部会	
相浦	会長名	末吉　睦子	〇各委員が担当地区において住民との信頼関係を築き地域の実情を把握することに努める（一人暮らしの高齢者、避難行動要支援者の見守り、登下校時の見守り、子育て支援の援助・サロン活動の支援など） 〇委員相互の資質向上を図るため、部会の研修会、全体研修、定例会での活発かつ積極的な事例発表への取組みを行い情報の共有、共通理解に努める 〇関係機関との連携を密にして安心安全な地域づくりに心掛ける 〇小中学校の子ども達の支援（登下校の見守り以外の支援）
	定 数	５４名 (内主任　3名)	
	実 数	５４名 (内主任　3名)	
	部会・委員会	①高齢者調査部会 児童生徒支援部会 （主任児童委員） ②高齢者支援部会 ③子育て支援部会 ④地域福祉部会	
黒島	副会長名	吉田　和彦	・ひとり暮らし高齢者を中心に見守りを強化する ・地域児童生徒の見守り、あいさつ運動の更なる推進
	定 数	６名 (内主任　2名)	
	実 数	６名 (内主任　2名)	
	部会・委員会		

民児協名	構　成		重　点　活　動
吉井	会長名	出口　爲男	○高齢者部会 ・高齢者宅訪問、見守り ・独居高齢者へ年賀状を作成発送 ○児童部会 ・小学校での昔遊びの伝承 ・学校支援会議等参加 ・通学路および周辺道路の清掃 ・通学時の交通安全、見守り ○厚生部会 ・福祉団体との交流 ・福祉施設の訪問、見学、交流 ・地域とのグランドゴルフ ・各種行事等の企画立案 ○ネットワーク事業 ・ネットワークの拡大 ○高齢独居者の食事会（月毎）での奉仕送迎と同行 ○避難行動要支援者宅の訪問
	定 数	１６名 （内主任　２名）	
	実 数	１４名 （内主任　２名）	
	部会・委員会	高齢者部会 児童部会 厚生部会 ﾈｯﾄﾜｰｸ事業	
世知原	会長名	堤　　幸江	○定例会 ○地区内の諸行事への参加 ○児童生徒への登校時の見守り、あいさつ運動 ○介護事業所などへの視察研修
	定 数	１４名 （内主任　２名）	
	実 数	１４名 （内主任　２名）	
	部会・委員会		
小佐々	会長名	山本　トシ子	○児童の見守り、挨拶運動 ○高齢者の見守り、家庭訪問、安否確認 ○月１回のふれあい食事会への参加協力 ○サロン参加 ○自治協、学校、地区行事への参加協力
	定 数	２０名 （内主任　２名）	
	実 数	１９名 （内主任　２名）	
	部会・委員会	総務部会 資金推進部会 児童福祉部会 高齢・身障福祉部会	

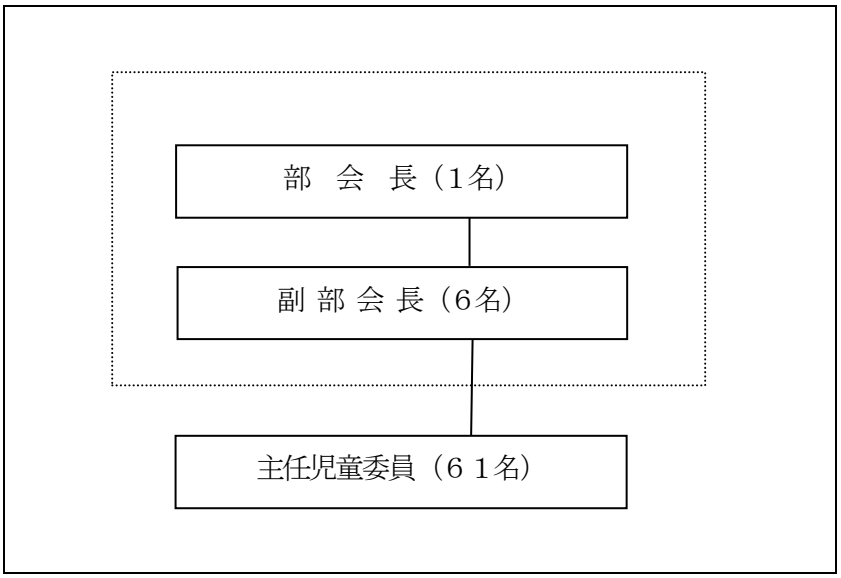
単位民児協名	構　成		重　点　活　動
江迎	会長名	濱野　かほる	①「江迎小・猪調小・江迎中」の学校訪問を、三校の行事や授業参観等に合わせて行う。 ②子育て支援「すくすくクラブ」の年間行事への参加協力を年13回行う ③市連合会会長会等で配布された「ちらし」を活用し。研修会や講演会へ参加する。 町外の「障がい児・者の学童支援を行っている施設2か所」を6月と10月の土曜日に訪問する。 ・「発達障がい児の療育型放課後デイサービス施設」 子ども発達支援やまびこ学苑 ・「不登校やひきこもりの子どもや青年、親や家族の支援施設」 NPO法人フリースペースふきのとう ④「小地域ネットワーク」の拡大及び見直しを行う。 ⑤「災害時要援護者登録台帳の既申請者」が、「避難行動要支援者名簿」に登録される支援活動を行う。 ⑥ 危険個所調査を行い、地区ごとにマップを作成し、区長と区内踏査を行う予定。 ⑦「避難行動要支援者名簿」の登録者をマップに記入し、「災害から一人も見逃さない」支援体制を確立していく(地区長との連携強化を図る。) ⑧ 生活弱者(社会的弱者)の見守り活動、避難及びアフターケアを行う. ・防寒(降雪)対策・水害、地滑り、台風等への対策 ・地震(津波)対策については、今後の課題とし、任期3年間で部会内で研究を進めていく。 ・定例会で積雪での交通遮断、水道凍結、給水活動等、さらに自然災害発生に備え、民児委員の動きや心構えを確認し合う。 ⑨ 佐世保市防災機器管理局より講師招聘の研修会や社協主催の災害ボランティア研修会並びに市消防団第六中隊主催の防災訓練に参加する。 ⑩「認知症サポーター養成講座」を開催し委員全員のオレンジリングの取得を行う。 ⑪地域にある施設を訪問し、入所の方々との交流をする。
	定 数	１８名 (内主任　２名)	
	実 数	１８名 (内主任　２名)	
	部会・委員会	企画部会 生活福祉部会 青少年福祉部会 ネット研究部会	
鹿町	会長名	出口　智美	・毎月第3火曜日に定例会を実施、各関係機関も出席し連携を深める ・毎月12日に各小学校、毎月1日に中学校にあいさつ運動を実施 ・敬老会に向け、各小学校と独居老人との愛の小鳩運動を実施（手紙交換） ・12月園児、小学校低学年を迎えての餅つき交流を実施 ・小学校・中学校との懇談会 ・1月3日成人式の後、地区の懇親会出席 ・各バス停留所の清掃活動（5月） ・独居老人の安否確認 ・地区内の諸行事への参加 ・児童の登下校時の見守り ・施設研修（介護施設）
	定 数	１６名 (内主任　２名)	
	実 数	１６名 (内主任　２名)	
	部会・委員会		

(別紙１）佐世保市民児協連合会組織図

〔会　長　会〕



〔主任児童委員部会〕



（別紙２）

佐世保市民生委員児童委員協議会連合会
令和8年度　事業計画書

１ 活 動 方 針

近年、地域社会を取り巻く状況はめまぐるしく変化しています。

地域では、単身世帯の増加や地域のつながりの希薄化などを背景として、複雑化・複合化する地域生活課題への対応を図るため、地域共生社会の実現に取り組んでいくことが重要な課題とされています。

そのようななか、地域住民の身近な相談相手であり、家庭全体の関わりを可能とする、民生委員・児童委員の活動への期待とニーズは、ますます高まっています。

こうした状況を踏まえ、私たち佐世保市民生委員児童委員協議会連合会においては、自治協議会をはじめ、各関係機関・団体等と連携して、将来へ向けたネットワークの構築を進めていくとともに、地域社会のつなぎ役として、民生委員・児童委員活動の一層の充実と、避難行動要支援者の支援活動など、更なる取り組みを推進します。

２ 重 点 目 標

(1)民生委員・児童委員の資質及び意欲向上を図る
（一般・会長研修、地区民児協等における研究検討等）

(2)要支援家庭への取り組み
（訪問活動、各種福祉制度の周知と利用促進、
関係機関との迅速・密接な連携）

(3)子どもと子育て家庭の見守り
（学校、児童相談所、すこやか子どもセンター等との
密接な連携及び情報共有）

(4)避難行動要支援者の支援に努める
（避難行動要支援者名簿の充実、地域との連携）